

政務活動に係る活動報告書

会 派 名	蔵王
活 動 項 目	先進地視察・研修会開催・○研修会参加・その他（ ）
年 月 日	令和4年4月11日
参 加 者 名	佐藤光義 谷江正照 石山正明 尾形みち子
視 察（ 研 修 ） 地	全国市町村国際文化研修所よりオンラインにより受講
目 的	少子化問題についての研修のため
調査（研修）項目等	少子化問題の日本の特徴
概 要	<p>「日本の少子化対策はなぜ失敗したのか」について 少子高齢化、経済停滞、格差社会の進行、男女共同参画の停滞、これら4つのトレンドが大きな要因と示されました。</p> <p>そして、この4つは相互に関連しているとの事です。</p> <p>1980年代まで結婚が容易にできた理由として、若者男性は正社員か自営業者の跡取り、正社員は終身雇用、年功序列賃金、自営業は政府によって保護、若年男性の稼ぐ収入も安定して増える見通しで、結婚にあたっての経済的心配は不要で、また若年男子の経済格差はほとんどない平等社会、男は主に仕事を通じて豊かな生活が可能で、女性は相手が誰でも経済的な側面では安心して専業主婦になれたとの事や日本型といえる雇用形態がしっかりとしていた事は、成婚数に対する大きな要因といえるとの事です。</p>
所 感	<p>日本では、できちゃった結婚を含め、結婚する事が出産への前提であるといえ、この事から導き出される少子化対策は、シンプルですが「収入が不安定な男性と結婚する女性を増やす」との事でした。欧米では成人し親元を離れる事が当たり前で、また収入が不安定な男性でもパートナーが得られるケースも多く、それにより同棲や事実婚、結婚などを通じて子供が生まれます。本市でも、男女の自立に向けた意識の醸成や結婚に向けた意識をどのように変革していくか、いまだ取り組み方が見いだせない難しい課題と感じた研修でありました。</p>